

学年	教科等	単元名	日時
第1学年	国語科	したことを かんがえながら よもう [教材:「サラダで げんき」]	平成29年11月1日(水)4校時

【問題意識や目的意識を持続させる単元構成の工夫】
 自分が動物になって登場するならどうするかを考えて物語に書き加える「サラダで もっと ぐんぐん げんき」を単元のゴールとして設定し、できた文章を読み合うことを確かめさせることで、単元をとおした目的意識をもてるようにする。また、「りっちゃんのお母さんは、どうしてたちまち元気になったのか。」という単元をとおした問題を設定し、一単位時間ごとに食材の必要性を考えさせることで、問題意識を持続できるようにする。

【言葉に向き合わせる言語活動の工夫】
 登場した動物の行動を表す言葉と他の場面の言葉を入れ替えた文章を提示する。それにより、動物の特徴に応じて、登場の仕方、サラダに入れる食材やその理由が表現されていることを捉えられるようにする。また、登場の仕方を動作化させたり、会話を役割読みさせたりして、言葉の意味や使い方を考えられるようにする。

【何を学んだか】をふりかえらせる手立て】
 物語の各場面の音読劇をし、動物の行動に視点をもたせて感想を交流させることで、学びを実感できるようにする。また、「おもしろかったこと」や「できるようになったこと」という視点で感想を書かせる。そして、物語を想像して読む楽しさを味わっている感想を取り上げることで、そのよさにふれることができるようにする。

本実践の主張

問題意識や目的意識を持続させる単元構成の工夫

問題意識を持続させるために、単元の導入で提示した問題を常時掲示した。本時では、食材の必要性を考える時間がなかった。

単元をとおした問題意識

単元をとおした目的意識

単元をとおして目的意識をもたせるために、単元のゴールの一部を毎時間板書した。

今日は、ありになりきろうかな。

ありとすずめは、好きな物を教えに来たと思う。

言葉に向き合わせる言語活動の工夫

ペアで選択

全体での話し合い

動作化

ここでは、「うたもじょうずに」がいいと思う。どうかな。

どうかな。でも、すずめが「はたらきもの」も違うような気がするなあ。

どうしてこの言葉じゃないといけないのかな。

すずめは、小さい物が好きだから、どうもこしだと思う。

すずめは、小さくてパタパタ動かしているもの。

どうして、手を小さくばたばたさせたのかな。

確かに、見たことあるなあ。

「何を学んだか」をふりかえらせる手立て

教材文のおもしろさを感じたかを把握するために、「とてもおもしろかった」「おもしろくなかった」という3段階の中から選び挙手をさせた。感想は、次時で書かせた。

とてもおもしろかった

まあまあおもしろかった

おもしろくなかった

今日は、したことが分かったからおもしろかった。

本単元で身に付けさせたい資質・能力 (だれが何をしたいか)

あ の う ち じ ぶ へ ち づ け たい 資 質 ・ 能 力 (だ れ が な ぜ 何 を し た い か)

あ の う ち じ ぶ へ ち づ け たい 資 質 ・ 能 力 (だ れ が な ぜ 何 を し た い か)

授業をふりかえって…

- 言語活動がいくつもあり、精選する必要があった。また、言葉に向き合わせるために必要な言語活動になっているのか、十分に教材研究を行うことが大事であると感じた。
- 動作化や役割読みをする際は、生活経験と結び付けて考えさせていったことはよかった。しかし、子どもの生活経験は様々なので、どの子どもにも想像できる手立てがあるとよかった。
- 1年生の発達段階を考えると、「おもしろかったところはどこか。」と問うことは難しすぎた。教師が、言葉を補う必要があった。ふりかえる内容も具体的なものにしていきたい。

御意見・御質問はこちら(研究部アドレス)
 miyafuken@cc.miyazaki-u.ac.jp

授業実践計画

○ 指導計画（15 時間）

- | | |
|---|-------------|
| (1) 単元のゴールの姿から単元のめあて及び学習計画を設定する。 | 1 時間 |
| (2) 新出漢字や語句の意味を確かめ、教材「サラダで げんき」の大体の内容を捉える。 | 1 時間 |
| (3) 登場人物の行動を捉えながら場面を読む。 | 8 時間 |
| ・ サラダを作ろうとするりっちゃん | 1 |
| ・ 動物たちの行動（登場の仕方、教えたこと、その理由） | 5（本時 3 / 5） |
| ・ サラダを食べたお母さんとりっちゃん | 1 |
| ・ 動物たちの行動のまとめ | 1 |
| (4) 自分の考えをまとめて物語に書き加える「サラダで もっと ぐんぐん げんき」を作成し、読み合う。 | 5 時間 |

○ 本時の目標

すずめとありの行動や特徴を捉えて、その場面の様子を想像することができる。

○ 指導過程

学習活動及び学習内容	教師のかかわり
<p>1 本時の学習について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 登場人物 ○ 本時の学習問題 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>すずめとありは、りっちゃんにどんなことをしたのだろう。</p> </div> <p>2 本時の学習の見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習の範囲 P110 2～P12 ○ 入れ替えた言葉の箇所の予想 <ul style="list-style-type: none"> ・ すずめは、砂糖をすすめていない。 ・ ありは、飛んで来ていない。 等 ○ 学習方法 <ul style="list-style-type: none"> ・ 学習プリントへの書き込み <p>3 すずめとありの行動について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自分の考えの書き込み ○ ペアでの話し合い <ul style="list-style-type: none"> ・ すずめは、飛んできた。 ・ ありは、ずらりと並んできた。 等 <p>4 すずめとありの行動について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ すずめの行動 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 登場の仕方…「とんできた。」 ・ 教えたこと…「とうもろこし入れなきゃ。」 ・ その理由……「げんきになれない。うたもじょうずになれない。」 </div> ○ ありの行動 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 登場の仕方…「ずらりと ならんで」 ・ 教えたこと…「おさとうを ちょっぴり」 ・ その理由……「おかげで、ありは いつも はたらきものさ。」 </div> <p>5 本時の学びをふりかえる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ すずめとありの行動 ○ 本時の学習の感想 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 掲示物を使って本時に登場する動物を確かめ、登場した動物の行動を表す言葉と他の場面の言葉を入れ替えた文章を提示することで、登場した動物の行動は何かという問題意識をもてるようにする。 ○ 提示した文章のなかで言葉が入れ替わっている箇所を予想させることで、動物の登場の仕方、教えたこと、その理由に着目すればよいことに気付くことができるようにする。 ○ 言葉を入れ替えた箇所に印を付け、適切な言葉を選ばせてプリントに書き込ませる。更に、ペアで「なぜその言葉がよいのか。」と考えさせることで、言葉の意味や使い方に着目できるようにする。 ○ 考えたことを基に、それぞれの行動を出し合わせ、その根拠を自分の経験と結び付けて話し合わせることで、各動物の特徴に応じた登場の仕方等になっていることを捉えられるようにする。 ○ 登場の仕方を動作化させたり、会話を役割読みさせたりすることで、言葉の意味や使い方を捉えさせるとともに、「自分と同じように元気になってほしい。」という動物の気持ちに迫れるようにする。 ○ 各場面の音読劇をさせ、どの言葉に気を付けて音読したかという感想を交流させることで、登場した動物の行動や特徴を捉えることができたという実感をもてるようにする。 ○ 「おもしろかったこと」や「できるようになったこと」という視点で感想を書かせる。そして、物語を想像して読む楽しさを味わっている感想を取り上げることで、そのよさにふれることができるようにする。

○ 学びの本質に向かっている子どもの姿

すずめは「入れなきゃ」という言葉で、とうもろこしを絶対入れてほしいと言っている。ありは「ちょっぴり」という言葉で、こつを詳しく教えているわ。すずめもありも、自分の好きなものを教えて自分みたいになってほしいと思っているんだ。

【読む能力】

